

「安心安全のまちに」

浜松のまちなか 防犯センター ボランティアが協力

浜松市中心部の有楽街が犯罪防止のための活動に昨年6月開設された「まちなか防犯センター」で、今夏から3街の関係者らと共にセ



ボランティアとして「まちなか防犯センター」に協力する津村さん(左)と郡司さん(右) 浜松市中区有町

相談に応じるなどして繁華街の安心安全の確保に協力している。

センターを運営する「まちなか防犯協議会(斎藤正会長)が活動

に広く市民の協力を呼び掛けようと、5月にボランティアを募集し、市内の会社員や大学教授が応じた。中区の会社員郡司勝弘さん(45)は「近所に住んでいるので、少しでも役に立てばと思った」と動機を語る。

長年、週末の繁華街で学齢期を超えたブラジル人の子供たちの生活を調査・研究している浜松学院大の津村公

博教授(50)も参加者の一人。一市民として土曜深夜、センターに通う。街に出て行う調査とは逆でカウンターの

中での対応だが「地元の人たちと話せるのは楽しい」という。センターには毎週金、土曜の午後7時から翌午前1時まで、地元関係者やボランティアが2人1組、4交代

で詰める。ふだんは道案内が多いが、トラブルを警察に通報することも。

センター開設で「有楽街を安心して通行できる」などの声が寄せられているという。協議会は随時、ボランティアを募集している。問い合わせは浜松商店界連盟へ電053(456)3637へ。